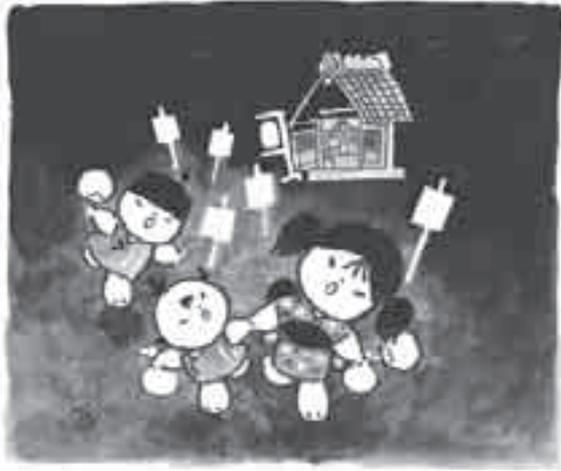


さやまの今本

沢の天王さま

入間川の沢にある八坂神社の夏祭りは七月十四日と十五日にあります。ご祭神が素盞鳴尊で、沢の天王さまとして知られており、私は十四日の夜訪ねました。道路はよくなりましたが、商店がありませんので七時ごろはあたりがうす暗く、灯籠に灯がともりますと、よけいに暗く感じられました。そんな中、ゆかた姿の親子づれがお参りにくるのんびりとした風景



は、まるで叙情画の世界です。



昔は、たいていそうにぎわったお祭りです。天王さまにはつきものの、あばれ神輿が村中をねりまわったそうです。御神体は荒つぽくて、腹立ち神さまと呼ばれ、人間の都合で日時を変えると、おおいに怒りだし疫病をふりまくそうです。それで十四日、十五日の祭日は絶対に変えてはならないことになりました。以前は大きなワラジを作り、そこに大きな穴をあけ、ワラジの端にチガヤをくっつけ、神社のお札をはさみ村境にたててよ、子どもたちは太鼓をたたいて家々をまわったもんだ」と、世話人のお年寄りが懐かしそうに話してくれました。これは二十五年ほど前に取材した記録です。

今年はどうな天王さまが見られるのでしょうか、楽しみます。

市民の作品展

童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載しています。

- 西瓜買つ 店に流れる 海之歌 だいくす 朋子
- ばらの門 通せんぼする くもの糸 堀田 安代
- 大合唱 蛙の指揮棒 雨をよぶ 大谷木 浩子
- 葉裏より 空のぞいてる カタツムリ 高橋 幸子
- 好きな子も 口あけ見てる 大花火 堀込 幸子
- しばられし 目に心こめ 西瓜割り 創始者 土家 由岐雄

編集後記



6月17日行われたあじさい祭りは、多数の市在住の外国人の方が参加し、盛大に開催されました。

狭山市は、韓国統營市、アメリカワージントン市と姉妹都市を、新潟県津南町、中国杭州市と友好都市を締結し、盛んに交流事業を展開しています。7月27日にはワージントン市から青少年バスケットボールチームが来市して、市内の中学生と親善試合が行われます。街角で同チームのメンバーに会ったら、思い切って声を掛けてみると、思わぬ国際交流の輪が広がるかもしれません。

分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。
締切り7月31日(火・当日消印有効)

6月号の答え

9ページ・ひとま写真館の「甲冑の着付け体験」の写真でした。



👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課) 7月1日現在。(内は前月比)

住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 79,606人(-86人)	903人(-15人)
女 77,284人(-38人)	1,177人(+4人)
合計 156,890人(-124人)	2,080人(-11人)
世帯 62,764世帯(-74世帯)	1,495世帯(-18世帯)

6月の火災・救急件数(消防本部)
火災件数 5件(建物4件、その他1件)
救急出動件数 424件(搬送人員386人)

